



社会福祉法人

小豆島町社会福祉協議会

この広報誌は共同募金助成金の一部で発行しています

ふくしだより

FUKUSHI DAYORI

No. **36**
2024.4



● 小豆島中学校 「せいけんじこども園」 - 保育実習 -

Contents

- ・小豆島中学校3年
「せいけんじこども園」- 保育実習 -
- ・小豆島中学校1年
バリアフリー学習の取組み
- ・小豆島みんなの支援学校
- ・小豆島町婦人会の活動について

- ・災害時への備えは、できていますか？
- ・赤い羽根共同募金実績報告
- ・商工まつり募金活動
- ・会費の報告
- ・第7回 社会福祉大会開催お知らせ



令和6年度
小豆島町社会福祉大会
12月開催予定

本所：☎ 82-5318 / 支所：☎ 75-0018

小豆島町社会福祉協議会



小豆島中学校3年 せいけんじこども園 ～保育実習～



昨年12月、小豆島中学校の3年生が、「せいけんじこども園」で保育実習を行いました。家庭科の学習の一つで、自分の成長を振り返りつつ、幼児や高齢者など様々な人と関わりながら生活していることを学ぶ学習です。

始めに室内で、家庭科の授業で作製したフェルトの手作りおもちゃなどを使って自由遊びをしました。続いて運動場で、大型遊具や鉄棒、マラソンなど、元気いっぱい思い思いに遊ぶ幼児たちと一緒に、中学生もパワー全開で遊びました。

中学生一人一人が目標をもって実習に参加し、子どもたちの「やりたい」気持ちに寄り添いながら接することができていました。小さな子どもたちに笑顔でやさしく接する姿が頼もしく、心温まる保育実習でした。



● 中学生が教室に入ると、「わー大きいなあ。何を食べたらこんなに大きくなるん？」と驚きの声があがりました。

● また絶対遊びに来てね！また会おうね、ありがとう！

● せいけんじの先生より「沢山遊んでもらって子どもたちは大喜びでした。またぜひ来てください。」



生徒感想 ～ 実習を終えて～

・最初に教室に入ったときから、わくわくした目で私たちを見ていてかわいかったです。みんな自分の感情に素直で、接し方が難しいと感じる反面、その分学びにもなりました。



・一人一人にあった接し方をすることが大切だと分かりました。5歳児ですごいなと思ったことは、自分たちで遊び方を考えていたことです。

・想像以上に子どもたちが元気で相手をするのが大変だったけど、その分楽しさもありました。

小豆島中学校 1年 バリアフリー学習の取組み



1年生の総合的な学習の時間で、バリアフリー学習を行いました。みんなが笑顔で安心して生活するためにはどうしたらよいのかを考えていくなかで、まずは「違い」について正しく知ることが大切だと知りました。そこで、どのようなことに困り感があり、どのようなことが障壁となっているのか、グループに分かれて調べ学習を行いました。さらに、実際に体験したり、触れ合ったりすることで、より理解を深め、自分事として捉えることができました。自分とは異なる「ふつう」があることを知り、みんな違うからこそ勝手に思い込むのではなく、お互いにコミュニケーションをとることが大切だと気付きました。そして、多様な人々と幸せに共生する社会の実現に向け、自分にできることは何か、真剣に考えました。



◎ 肢体不自由について

車いすの使い方について、社協職員の方から説明を聞いた後、校内で車いす体験を行いました。ちょっとした段差でもバリアとなって苦勞することや、車いすの押し方で安心感が変わることを体感しました。



◎ 聴覚障がいについて

実際に耳の不自由な方から生活の中での困りごとをお聞きし、騒がしくしないことや、メモを使うことなど、自分たちにできるサポートのし方を考えました。手話での自己紹介にチャレンジしました。



◎ 発達障がいについて

障がいによって人それぞれ困り感が違うことや、「目に見えない障がい」だからこそ、周りの理解が得られにくいということが分かりました。決めつけや思い込みでバリアを作らないようにしていきたいです。

◎ 小豆島町役場を訪問して

町役場では、点字案内や点字ブロックの設置など、視覚に障がいのある方のバリアを取り除くために、いろいろと工夫されていることが分かりました。



◎ 「香川県立小豆島みんなの支援学校」を訪問して

1年生のお友だちの案内で、校内を見学させていただきました。様々な力を身に付けるために、施設や設備が工夫されていました。これからも交流を続けていきたいと思えます。





【 学校紹介 】

香川県立小豆島みんなの支援学校は、小豆地域で初となる特別支援学校として令和5年4月に小豆島町に開校しました。小豆地域の方々の長年の思いを受けて設置された学校であり、地域に根差し、地域の方々と共に子どもたちを育てていくという基本理念から、校名を「小豆島みんなの支援学校」としました。子どもたちや地域の方々から親しみをもって呼んでもらうことのできる校名です。



開校初年度は、12名の児童生徒が本校の門をくぐり、真新しいオリーブ色の校舎で二十四の瞳を輝かせました。さらに、児童生徒、保護者、教職員から校歌に入れたい言葉を募集し、教員が中心となって作詞・作曲した素敵な校歌も完成しました！

令和6年度は新たな子どもたちを迎え、17名でスタートする「小豆島みんなの支援学校」をこれからもよろしくお願いします。

【 交流及び共同学習 】

学校は小豆島町立池田小学校と隣接する場所に設置され、日常的に交流ができる環境になっています。合同で運動会や修学旅行を実施するなど交流及び共同学習にも取り組んでいます。その他にも、居住地校（地元の小・中学校）や香川中部支援学校（高松市）、小豆島中央高等学校等と定期的な交流も行っています。交流学习を通して、人とのつながりを広げ様々な経験を積むことが、子どもたちの内面を育てていく良い機会となっています。



(池田小学校との合同運動会)



(居住地校との交流)



(香川中部支援学校との交流)

【 特色ある取組：オリーブタイム 】

オリーブタイムは、「学校のために」「地域のために」、たくさんの人に喜んでもらえることを自分たちで考え、活動する時間です。全校縦割りグループに分かれ、校内や校外で毎日活動しています。活動している子どもたちを見かけたら、ぜひお声がけください。地域の方々からの温かい言葉が子どもたちの励みにつながっています！

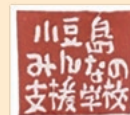


(池田港・土庄港で防犯・交通安全グッズを配布)



香川県立小豆島みんなの支援学校

☎ 0879-61-3201



小豆島町婦人会では、防災・防火等の研修会や、79歳以上のひとり暮らしの高齢者や80歳以上の夫婦を対象に友愛訪問を行っています。

防災については、今後30年以内に起こるとされる南海トラフ地震対策として、非常持ち出し袋の準備や非常食などの研修会。防火については住宅用火災警報器設置や消火器の実技講習。また、AEDの使い方など繰り返し講習会を実施しています。

先日は、日赤香川県支部の協力で「リラクゼーション講習会」を実施しました。避難所などで心身のリラクセスに役立つだけでなく、地域のサロン活動や介護している時に肩や背中・腕などに優しく触れながら癒しの時間を過ごす、昔から言われている“手当”でホッとしたりとひとときを過ごすことができます。



友愛訪問では、必ず高齢者の方と顔を合せて「お元気ですか？何かお困りのことはありませんか？火災警報器はついてますか？火事には気を付けてくださいね。」等、お声かけをしています。訪問する時持参するのは、コロナ禍以前は手作りおはぎやかきませでしたが、今は各地さまざまです。私の地区では、保存期間7年の水も火も使わず食べられる防災食をお配りしています。買物に行けないときに重宝がられています。



これからも、地域の方々と共に手を取り合い活動していきたいと思えます。



災害時への備えは、できていますか？

令和6年1月1日、石川県能登半島で大きな地震が発生しました。災害は、いつ来るか分からないとは言いますが、元旦にまさかの出来事でした。夕方に速報が入り、日が暮れる中、全く状況が分からないまま輪島市の大規模火災の映像が流れました。

翌日、被災状況が少しずつ明らかになり、奥能登の方は孤立状態だと知り、小豆島は、更に大変な状況になるだろうと思いました。

災害が起こると、各市町社協が災害ボランティアセンターを立ち上げます。一連の流れとしては、①ボランティアを募集 ②地域のニーズとボランティアをマッチング ③ボランティア活動です。今回の能登半島地震も、災害ボランティアセンターが開設され、現地職員のほか、全国の社協職員が、被災地支援へ向かっています。

奥能登は、なかなか支援に入れない状況下です。そのような中で、やはり大切なのは、支え合いとなります。日頃のご近所同士の繋がりが災害への備えにもなります。

小豆島町社協では、支え合いマップを推進しています。地域を知ることが、支え合いの一步となります。支え合いマップを作成し、もしもの時のために備えませんか？

支え合いマップの作成

地域で支え合い
～おたがいさまの心で～
いざという時のために



支え合いマップとは…

- ・支える側・支えられる側
- ・避難場所や避難経路・危険箇所などの情報や地域の繋がりを把握するための地図です。地域の情報を住民同士で共有し、災害時だけでなく、日頃の見守りにも活用しましょう。





赤い羽根共同募金



令和6年 能登半島地震の義援金の募集について

2024（令和6）年1月1日に発生した「令和6年 能登半島地震」により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災地の共同募金会では、被災された方々を支援するために義援金の募集を行っています。

詳しくは、各被災県共同募金会ホームページをご確認ください。

共同募金報告

（令和5年10月1日～12月31日）

みなさまからの温かいご支援、ご協力により多くの善意が寄せられました。心から感謝申し上げますとともに、募金結果をご報告いたします。

今後とも引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

みなさまから寄せられた募金は、香川県共同募金会にて集められた後、一部が令和6年度に小豆島町の地域福祉活動資金として助成されます。

募金額内訳

（単位：円）

戸別募金	4,454,000
法人募金	133,014
職域募金	249,000
募金箱	12,805
街頭募金	15,953
自動販売機	213,559
その他	12
合計	5,078,343



10月22日（日）



商工まつりで募金活動をしました。
ご協力ありがとうございました。



あたたかな善意をありがとうございました。

令和5年4月～令和5年12月

寄付件数	4 件
寄付合計金額	129,570 円



寄付にご協力お願いします

社協の財源の一つが、みなさまから寄せられる会費や寄付金です。こうした財源は社協の事業を行う上で大きな支えとなっています。金額の多少を問わず、年間を通じて受け付けております。どうぞお気持ちをお寄せください。

社会福祉事業へのご寄付は寄付金控除の対象となります。

ご寄付いただいた方の氏名は町広報紙に掲載しておりますのでご覧ください。

令和5年度助成報告

4,159,969円

- ・小豆島町社会福祉協議会
- ・池田老人クラブ
- ・内海老人クラブ
- ・小豆島町老人クラブ連合会
- ・小豆郡手をつなぐ育成会
- ・小豆島町障害者スポーツ大会事務局
- ・小豆地区保護司会東分区
- ・小豆郡生活研究グループ
- ・さわやかクラブ（草壁本町南）
- ・小豆島町婦人会池田支部
- ・西村原自治会
- ・西村中条自治会
- ・片城さわやかクラブ
- ・あずき♪島っ子合唱団

令和5年度小豆島町社協会費報告

（令和6年2月1日現在）

《一般会費》	1,211,400円
《賛助会費》	1,325,000円

ご協力ありがとうございました。

第7回 社会福祉大会開催お知らせ

令和6年12月に社会福祉大会を開催します。

※日程等の詳細は、決定次第ホームページ、広報誌でお知らせ致します。

〈お問い合わせ〉

小豆島町社会福祉協議会

☎82-5318